

16. 法曹への道案内

概要	近年、法曹（裁判官、検察官、弁護士）がテレビドラマの主人公として、あるいはワイドショーのコメンテーターとして登場することが増えました。一般市民の皆さんにとっても、法曹という存在がかなり認知されてきたのではないのでしょうか。もっとも、「法曹って実際にはどのような仕事をしているのだろうか?」「どうすれば法曹になれるのだろうか?」と考えてみると、よく分からない所が多いのではないかと思います。この講座では、法曹養成過程の教育に実際に携わっている研究者及び実務家が、特に法曹に関心のある学生、教諭、保護者の皆様を対象に、法曹養成過程における教育システムと教育の実際について、広島大学における取組みや具体的事例等を紹介しながらお話しします。学生、教諭、保護者の皆様にとって、法曹を将来の進路選択の1つとして考えるきっかけになればと思います。
会場	東千田キャンパス 東千田未来創生センター M304 講義室 / 広島市
時間	① 13:00～13:50 ② 14:00～14:50 ③ 15:00～15:50 ④ 16:00～16:50
定員/対象	50名 / 法曹に関心のある大学生・高校生・中学生、教諭および保護者
受講料	無料

入れ替え

10/19 (土)	1回 ①	法曹養成過程における教育システム	法務研究科 教授 秋野 成人
	2回 ②	法科大学院の授業風景	法務研究科 教授 日山 恵美
	3回 ③	司法修習の様子	法務研究科 准教授 堀田 尚徳
	4回 ④	法曹という仕事について	法務研究科 教授 田上 剛

2004年に法科大学院が設立されて以降、法曹養成制度は大きく変わりました。そして、制度が変わったことに伴い、法曹養成過程に対して大学がどのように関わっていくべきなのかについても、未だに試行錯誤が続いている状態です。第1回は、法曹養成過程における教育システムについて概要をお話しすると共に、広島大学における取組み及び教育理念等を紹介することで、受講生の方々と前提知識を共有したいと思います。

第2回は、広島大学法科大学院において、法曹になることを希望する学生に対してどのような授業を行っているのかについて、刑法を担当する立場からお話しします。講義では、刑法に関する具体的な事例について、クイズ形式で一緒に考えることを通じて、受講生の方々に法科大学院における教育のイメージを持ってもらいたいと思います。

第3回は、法科大学院を修了後、司法修習において、どのような研修を行うのかについてお話しします。講義では、司法修習中に実際に経験する事例について、クイズ形式で一緒に考えることを通じて、受講生の方々に司法修習における研修のイメージを持ってもらいたいと思います。

第4回は、実務家教員が、実際に行われている刑事裁判の事例を題材にして、刑事裁判において法曹三者（裁判官、検察官、弁護士）がどのような役割を担い、具体的にどのように活動しているのかをお話しします。それを通して、社会や共同体の中での法曹三者の仕事の役割や意義について、受講生の方々に理解していただければと考えています。

講座内容に関する問合せ

東千田地区支援室
(法務研究科担当)

電話：082-542-7087

メール：houmu-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp